



～戦後80周年 平和について考える～

◇子どもたちの心に響く平和教育とは◇

令和7年3月鶴巻中学校で、2年生を対象とした平和を考える一つの講演会が開催されました。講師は元県立高校の校長先生で秦野市在住の三杉先生です。この講演会の強みは、戦争反対と声高に主張するだけではなく、最愛の夫を戦争に送り出す**家族の切ない想いを、当時の手紙を朗読して、子どもたちに伝える学びの場**です。

生徒が記入したアンケートを見せていただきましたが、デジタルの世界において、敵を攻撃するシーンが日常化している生徒であっても、人生の大先輩が涙を浮かべながら大切な家族との悲しい別れの情景描写をするお話が、いかに**子どもたちの心に残ったか**、よくわかりました。

私も一昨年、長崎の原爆記念館を訪れてみましたが、秦野市では、**東中学校や鶴巻中学校が被爆地広島を修学旅行で訪れています**。戦後80年の節目の年、戦争反対だけではなく、海外で続く紛争の報道を見ると、**今の子どもたちに、何をどのように伝えるべきか、大人の工夫と努力が試されている**ような気がします。



東中修学旅行の一コマより
どこかわかりますか？

～親子広島訪問団募集中です～

冒頭でも書きましたが、秦野市では長年、被爆地広島を訪問し、**親子で平和の尊さについて考える機会**を設けています。

この企画は、**8月5日から7日の2泊3日の日程**で原爆ドームを見学したり、平和記念式典に参列して、何かを感じてもらいたいと毎年行っているものです。

市内在住小学4年生～中学3年生の親子5組10名募集ですが、**6月20日(金)締め切り間近！百聞は一見に如かず！**

問い合わせは**秦野市役所 文化振興課 都市交流担当 86-6309**まで

訪問団の行動予定

- ◆7月22日(火) けつだんしき せつめいかい 結団式・説明会
※市長から平和へのメッセージと千羽鶴を受け取ります。
- ◆8月5日(火)～7日(木) ひろしまほうもん 広島訪問(2泊3日)
※平和記念資料館の見学、平和記念式典への参列、
へいわきねんしりょうかん けんがく へいわきねんしきてん さんれつ
ひばくしゃ たいけんだん ちようこう 被爆者の体験談の聴講など
- ◆8月16日(土) 「はだの・平和の日のつどい」で報告 ほうこく
- ◆9月～10月 被爆アオギリ二世苗木の植樹・報告 ひばく にせいなえぎ しよくじゅ ほうこく



追加募集 韓国6days

坡州市英語村中学生派遣事業
坡州市中学生歓迎事業

秦野の強み英語教育



実は秦野市は英語教育が盛んです。当然諸先輩方のレガシーあって

のことですが、東海大学や上智大学短期大学部、そして地域の皆様のご支援もあって、特色ある英語活動が展開されてきました。現在も先生方の熱心な指導で、昨年度公表された文部科学省の英語教育実施状況調査でも英検3級相当以上の生徒が、神奈川県が42.7%に対して、本市は46.9%と初めて県平均を超えました。

英語村派遣事業も特色ある英語教育の一つ！

こちら6月23日まで追加募集中

